

令和3年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	一人ひとりの確かな学びを支えるための教育課程を編成し、教育目標の実現に向け、各教科等の指導を関連付けながら魅力ある授業を展開する。	① 児童・生徒の実態や地域の特性を生かした系統的な教育課程を編成し、一人ひとりの指導の充実を図る。 ② 教員一人ひとりが研修や振り返りを積極的にを行い、自立活動や教科等の指導を適切に行う。	①-1 年間指導計画を作成するにあたり、教科等の系統的な指導につながることに留意する。 ①-2 教育実践の発信を積極的に行うことにより、家庭と学校との連携を深め、効果的な学習を実践する。 ② 学部、学年ごとに授業の振り返りや記録の方法等を工夫し、PDCAサイクルを効果的に実践できるようにする。	①-1 教科等の系統的な指導につながることに留意して、年間指導計画を作成することができたか。 ①-2 教育実践の発信を積極的に行うこと等を通して、家庭と学校との連携を深めることで、一人ひとりの指導を効率的に行うことができたか。 ② 教員一人ひとりが研修や振り返りを積極的に行うことで指導を適切に実践するができたか。					
2 児童・生徒 指導・支援	個別教育計画作成・運用システムを構築し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図る。	① 児童・生徒一人ひとりに応じた指導を行うために実態の捉え方や重点目標の設定について共通理解を図る。 ② 個別教育計画検討日にクラス外の教員が参加できる仕組みを構築し、実態把握や評価を総合的に検討する。	①-1 児童・生徒一人ひとりの実態の捉え方について共通理解を図るために専門職の活用、研修の機会を設ける等の対応を行う。 ①-2 重点目標の設定については学部間で共通理解を行う機会を設定する。 ② 個別教育計画検討日にクラス外の教員が参加できるように計画を立て、実践する。	①-1 児童・生徒一人ひとりの実態把握や重点目標の設定を専門職の活用等多角的に行うことができたか。 ①-2 重点目標の設定について学部間で共通理解を行う機会を設定することができたか。 ② 個別教育計画についての検討(振り返り日)をクラス外の教員の参加を含め計画的に行うことで実態把握や評価を総合的に検討することができたか。					
3 進路指 導・支援	地域の関係機関との連携を築き、児童生徒が地域で豊かに暮らし働くことにつながる指導・支援を展開する。	① 児童・生徒の自立と社会参加に向けて、キャリア教育を推進するとともに、学部間をつなぐを踏まえ、作業学習の充実を図る。 ② 地域資源の活用と開発を意識した計画と実践を行う。	①-1 作業コーディネーターを中心に作業担当者間で話し合う機会を作り、中学部、高等部の作業のねらいや目的を検討し、学部間をつなぐを構築する。 ①-2 生徒の取組や変容について面談等を通して保護者に伝え、家庭との連携を含めたキャリア教育を進める。 ② 相談支援センター等地域関係機関との連携を強化し、進路支援を進めていく。	①-1 学部をつなぐを含めて、本校の作業学習の在り方を検討し、学部間をつなぐを構築することができたか。 ①-2 面談等を通して保護者との情報共有を丁寧に行い、家庭との連携体制を深めることができたか。 ② 相談支援センター等地域関係機関との連携を強化し、進路支援を進めることができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	共生社会の実現に向け、地域が積極的に学校運営に参画し、学校で、地域で「ともに学び、ともに楽しみ、ともに喜ぶ」教育活動を創造・展開する。	① 学校運営協議会、各委員会、地域学校協働本部の活動を通して、地域の方が学校づくりに参画する仕組みを整備する。 ② 地域のニーズを把握するとともに、地域貢献する教育活動を模索する。	①-1 学校運営協議会や各委員会での協議が学校運営に反映できるようにする仕組みを構築する。 ①-2 学校運営協議会、各委員会、地域学校協働本部の位置づけを整備して、学校づくりへの関わりを明確にする。 ②-1 地域関係機関や教員間での連携を図り、居住地交流や学校間交流等全教職員が交流及び共同学習を担う取り組みを進める。 ②-2 学校運営協議会や地域学校協働本部と連携して地域のニーズを把握し、地域貢献する教育活動を創造し実践する。 ②-3 外部人材の活用を図り、通学支援や学習活動の充実を図る。 ②-4 あおば支援学校を活用したスポーツ文化プログラム、施設開放を整備し、活動を充実させる。	①-1 学校運営協議会や各委員会で協議されたことが、職員に周知され、学校運営に反映される仕組みを構築することができたか。 ①-2 学校運営協議会や各委員会、地域学校協働本部の位置づけを整備し、学校づくりへの参画についての道筋を作ることができたか。 ②-1 居住地交流や学校間交流等全教職員が交流及び共同学習を担う取り組みを進めることができたか。 ②-2 地域貢献する教育活動を実践することができたか。 ②-3 外部人材の活用を図り、通学支援や学習活動の充実を図ることができたか。 ②-4 スポーツ文化プログラム、施設開放について整備をすることができたか。					
5	学校管理 学校運営	児童生徒、保護者、教職員、地域と誰もが安全・安心で、使いやすく整った教育環境の充実を図る。	① 感染症予防対策を含めた児童・生徒が安全に安心して過ごすことのできる教育環境を整備する。 ② ライフワークバランスを踏まえた職場環境づくりを推進する。	①-1 学校運営要項や各種マニュアルについての職員の共通理解を図り、活用を図るとともに適宜改善を行う。 ①-2 社会情勢等を踏まえながら、学習の保障を考慮した教育活動の整備を進める。 ②-1 退勤時間を設定し、職員に周知して一人ひとりがタイムマネジメントを意識して取り組めるようにする。 ②-2 グループ内の業務内容の見直しやグループ間の業務内容の整理を行い、業務の効率化を図る。	①-1 学校運営要項や各種マニュアルの活用及び改善を行うことができたか。 ①-2 社会情勢を踏まえた上で、学習の保障を考慮した教育活動に取り組むことができたか。 ②-1 職員一人ひとりが退勤時間を意識して職務に取り組むことができたか。 ②-2 業務内容の見直し、業務の整理を進めることができたか。					